



# 軍事費削れ！自衛隊海外派兵反対の新聞意見広告

## －各地域・職場で成功のために大車輪－

10月18日の常任理事会ではこの秋の運動として、軍事費削れ・自衛隊の海外派兵反対（新テロ特別措置法許すな）を中心にチラシ配付・宣伝カーでの訴え・自前学習会・新聞意見広告掲載等シッカリ県民にアピールしていくことを申し合わせました。

まだ話し合い・会議を持っていない所は急いで開き、運動を具体化してください。

### 意見広告各平和委員会の取り組み

☆みとみなみ：早くも50名の賛同目標を達成。60～70名に向けて奮進。常任理事の神長さんが「僕が40名やるから石島さんにも20名やってもらおう」とハッスル。6日に40口。さらに石島さんが10口。

☆ふじしろ：30日の会議。「昨年56口だから70にする」。渡辺さんが「やっぱり80くらい出ないと」。11月13日に駅頭宣伝もやる。みんなやる気満々。

☆内原・友部：8日の事務局会議で。「今年はいろいろな集いをやったから60口は難しくないよ」「取り敢えず昨年、賛同してくれた人に早急にあたろう」。

☆石岡：昨年の140口は難しいが100口はみんなで早いとこやっちゃおう」6～9日、市内を県宣伝カーで山口代表を先頭に訴える。

☆取手：「昨年の分くらいは3人で割り振ったから大丈夫よ」との事。上ずみをお願いします。

☆守谷：11/9に総会。参加者から8名が賛同。目標の25名は役員先頭に頑張る。事務局長の齊藤さんと会計の杉山さんが会員訪問活動を定期的に行っています。体の弱い人・つどい等にあまり出てこれない方への訪問活動はどこもやっておらず先進的です。

☆阿見：「まず昨年並を」会員の協力と水野さん。他の市町村からも賛同を得たいと静かな闘志を燃やしています。ワインは2ケースOK。

☆つくばみらい・荃崎・ひたちなかは役員間で話し合い、みんなで奮闘する事を約束。

☆水戸西・花だいこん・鹿行・土浦・笠西は12月の「つどい」の取り組みと一緒にやっていく。

### 12月の各平和委員会の集い

☆土浦：ビデオで学習会「ヒバクシャ～世界の終わりに」  
12月8日（月）1時から 4中地区公民館視聴覚室

☆水戸西：平和忘年会 12月13日（土）  
午後1時半～4時 堀原公民館 会費500円  
ビデオ「昭和の戦争（第4巻）」鑑賞と交流・懇談

☆内原・友部：自前学習会「軍事費とくらしを考える」  
—県平和委員会秋の宣伝チラシを使って—  
12月14日（日）午後1時～3時半  
笠間市立図書館（旧友部町）視聴覚室  
終了後、忘年会と新入会員歓迎会をおこないます。

☆笠間（9条の会）：  
「アフガンの現状と自衛隊派兵恒久法」学習会  
講師：千坂 純 さん（日本平和委員会事務局長）  
12月7日（月）午後1時半～ 笠間市公民館ふれあいルーム

☆北茨城（9条の会）：12月例会  
と き 12月7日（日）午後1時30分～  
ところ 市防災コミュニティセンター  
（磯原町旧磯原、としまや月浜の湯と民宿しずかの間）  
DVD「日本国憲法」上映、平和展のダイジェスト展示  
\*みんなで歌いましょう

### お願い

平和委員会はどこからも財政援助を受けておりません。みなさんの会費等が会の運動・組織を支えています。会費・紙代等の納入を宜しくお願いします。

### 08年朝日新聞意見広告賛同者・口数実現目標

1	北茨城	40	11	水戸南	50	21	百里	10	31	藤代	60
2	美和・緒川	25	12	花だいこん	30	22	土浦	70	32	取手	50
3	日立	15	13	はばたき	20	23	阿見	70	33	下館	60
4	太田	30	14	内原・友部	60	24	つくば	18	34	結城	40
5	大宮	15	15	笠西	30	25	守谷	25	35	さかい	10
6	東海	59	16	鹿行	65	26	つくばみらい	30	36	古河・総和	10
7	ひたちなか	83	17	潮来役場	30	27	荃崎	25	37	五霞	2
8	那珂	25	18	池貝	5	28	竜ヶ崎	20	38	労組・民主団体	30
9	水戸	・	19	石岡	140	29	美浦	10			
10	水戸西	70	20	八郷	25	30	江戸崎	2			
									計		1359

## 平和かわら版

No.517  
月3回発行  
2008.11.15

### 平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



# 版画「三光」で貫いた平和思想

## 一 島 聖壇の生きざま 一

歌の文句ではないけれど「人生色々」だ。生きざまも様々だ。ましてや艱難辛苦のなかで自らの信念を貫く。誰でもが出来る業ではない。そんな「信念を貫く」人にたいして日本人は「情のもろさ」と同じように快さを感じる。これも日本人の美徳のひとつであるように思える。

ここに三村さんから頂いた本、「島 聖壇一日中友好と平和を貫いた生涯」を読んでもみると「信念の強さ」を感じとらされる。

島さんは1920年奄美大島で生を受け、42年徴兵で中国戦線へ、敗戦と同時に戦犯として5年間を日ソ連で更に6年間を中国で捕虜生活。16年ぶりの56年帰国。75年から版画で平和を貫く。06年永眠。

作品は版画「三光」全30作、シベリア抑留をモチーフにした作品、横浜緑区米軍墜落事件「神奈川の女達」、奄美大島の農民一揆等々。特に「焼き光（つくし）、奪い光し、殺し光す」の30作は、北京中国人民抗日戦争記念館、遼寧省撫順戦犯管理所に寄贈。

島さんは、帰国して間もなく叔父から共産党入党を進められた時、「日本共産党に入りたいとは思っていませんが、今のわたしにはその資格がありません」と断った。

それは、「中国では、認罪について努力してきましたが、現在、自分で納得するところまで到達していません。もつと努力を重ねて心から私の犯した戦争犯罪についてお詫びしたいと思っています」と。以後、20数年、版画・三光に取り組み完成。ついに自らの犯罪に対して自ら責任を果たせると納得が心に宿り、晴れて叔父さんとの約束ごとであった日本共産党への入党を実現。こんな所にも島さんの一念か感じられた。

書籍には版画作品が網羅されて、その時々のお話や友人・知人の思いが掲載されている。島夫人が三村さん等の協力

を得て08年出版。243頁。非売品。詳しくは水戸西平和の会会員、三村節さん 029-227-1861 まで。

(茨城県平和委員会事務局長 伊達郷右衛門)



## 800目標でがんばるぞ！

ふじしろ平和の会 根本 和彦

欠々に役員会を開き今後の取り組みについて話し合いました。場所は取手のガスト。県理事の杉山さんの「意見広告の目標どうする。昨年560だから70位にする？」という提案に、代表委員の渡辺さんがかさず「やっぱり800位でないとい！」の一言に、代表委員の阿部さんと事務局の根本もすぐ賛成。即決しました。

また、藤代駅頭宣伝行動(チラシ配布・署名)も11月13日夕方に行うことを決めました。高校生にも訴えようとして5時から実施することになりました。また、県の宣伝キャラバンも積極的に取り組むことを確認しました。

会員の交流を図る企画が延び延びになっていきました。ここに来てはあっても仕方がないので、東京大空襲にあわせて3月に東京江東区北砂の戦災資料センター見学を兼ねて「東京下町・平和&史跡ウォーク」を企画することになりました。皆さん、何かいい情報があったら教えてください。お願いします。

そういうわけで約1時間の役員会ほとんどん拍子に方向性が決まり、終了しました。お疲れさまでした。

## 石岡地域憲法9条の会

### 初の宣伝行動



石岡地域憲法9条の会事務局長 稲田 明浩

石岡地域憲法9条の会では、石岡平和の会・八郷平和の会の全面的な協力のもと、結成後初めての宣伝行動を県平和委員会の宣伝カーをお借りして、11月6日(木)から9日(日)にかけて実施しました。

宣伝行動には石岡平和の会から5名、八郷平和の会から3名が参加しました。

石岡市と小美玉市の各地区を宣伝したのですが、スーパー前や住宅団地では街頭演説も行いました。スーパー前では買い物客が目を傾けたり、住宅団地では物陰に隠れて聴いている方もありました。

八郷地区では、住宅団地で流し宣伝を行いながら、刷り上がったばかりの石岡地域憲法9条の会のニューズ第1号を200枚程度配布しました。

宣伝行動を行ったことにより、平和憲法の大切さと「九条の会」の知名度アップに貢献したのではないのでしょうか。

#### 【絵本の紹介】

絵本 「戦争のつくりかた」マガジンハウス社

絵本の本文と関連の深い法律が一つひとつ解説されていて、短文ですが平和をじっくりと考えることのできる本です。

あなたは戦争がどういうものか、知っていますか？

わたしたちの国は、60年ちかくなまえに、

「戦争をしない」と決めました。

だからあなたは、戦争のために

なにかをしたことがあります。

でも国のしくみやきまりをすこしずつ変えていけば、

戦争をしないで決めた国も、戦争できる国になります。

たとえば・・・ 【絵本「戦争のつくりかた」から】

花だいこん平和の会 中山 弘子



#### 事務局便り

事務局で気になる事は多々あるが、そのひとつは各平和委員会の方々の動向と運動の取り組みだ。ふだんにはチラシや宣伝カーの訴えがどれくらい豊民に浸透しているのだろうか、という事。三つ目は「平和かわら版」がどれくらい豊民に読んでもらっているのだろうか。そのためには「かわら版」をみんなのものにする事。こんな事に腐心して日々を送る毎日。(伊)